

< その他、取組に特徴のある事例 >

小学校と連携した地域活性化の取組

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	鹿児島県薩摩川内市 <small>くろむしや</small> 黒武者			
協定面積 6.9ha	田(100%) 水稲	畑	草地	採草放牧地
交付金額 117万円	個人配分			50 %
	共同取組活動 (50%)	道・水路・農地管理費		22 %
		共同利用施設整備費		11 %
		役員報酬		4 %
		多面的機能増進活動 その他(積立等)		2 % 11 %
協定参加者	農業者19人、水利組合2(構成員36人)、小学校			

2. 取組に至る経緯

当集落は山間部に位置し、水稲を中心にハウスきんかんを栽培する兼業農家が多い地域であり、高齢農家が大部分を占めているため、個々での営農活動が懸念されていた。

一方、当集落では、田の神等の史跡をはじめ、母体である おおまごえ 大馬越地区コミュニティ協議会による棒おどり・といあげ祭り(収穫祭)・さなぶり会など伝承芸能・伝統行事の活動が活発に行われていたことから、当制度に取り組み、集落一体となって高齢者を支え合い、水路・農道等の維持管理を行い、農用地の保全を行うこととなった。

2期対策からは、集落の維持発展に向けた体制整備の取組や「農地・水・環境保全向上対策」との連携による効果的な取組も実施している。

3. 取組の内容

当集落では、地元の小学校と連携して、大豆の作付けから収穫までを実践するとともに、児童とのふれあいの中で、農業への理解促進や「食への感謝」の気持ちを伝えるよう取り組んでいる。

収穫された大豆については、地大豆の「とうふ」に加工し、市内で販売され、地産地消にも繋がっている。また、現在は、加工研修会に自主的に参加し、技術研鑽に努めるとともに、今後は、学校連携の中でも豆腐の加工が実施できるよう検討しているところである。

また、交付金を活用して畦塗機を購入し、共同作業で畦塗りを行っており、作業の軽減にもつながっている。

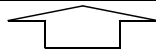
平成20年度からは「農地・水・環境保全向上対策」と連携し、老朽化した水路の補修等が実施され、農業生産活動が効率的に実施されるようになり、今後も活動を連携して実施していくこととしている。



小学校との連携による大豆の収穫風景

[集落の将来像]

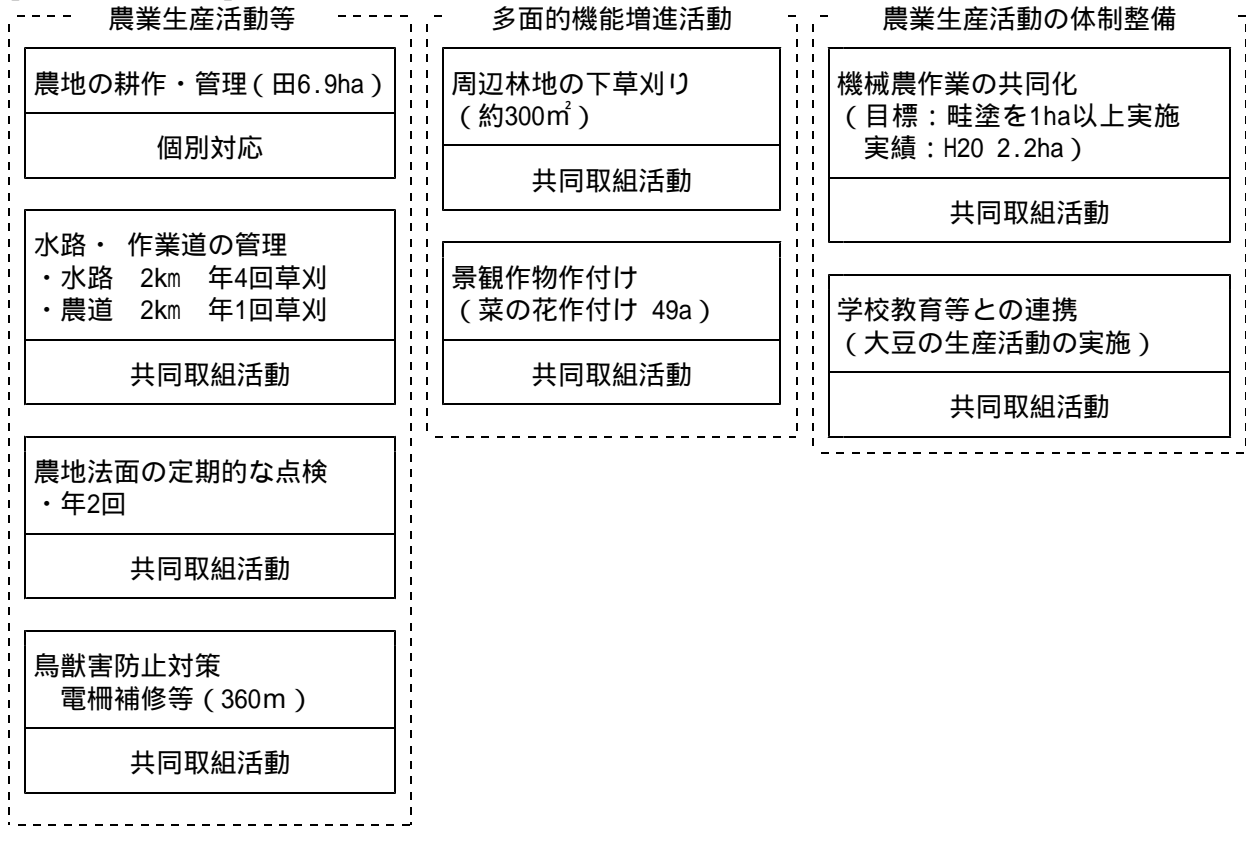
当集落は、水稻を中心にハウスきんかん栽培などの兼業農家が多い地域である。高齢農家がほとんどであるため、集落全体で水路・農道の維持・補修などの保全活動を実施し、今後の農用地保全に向け、集落一体となった農業生産活動・地域興しを根付かせる取組を実施したい。



[将来像を実現するための活動目標]

定期的に検討会を開催し、向かうべき将来像について、随時、点検・評価を行い、体制の確立に向けて活動を検討していく。

[活 動 内 容]



4 . 取組による変化と今後の課題等

本制度の取組により、加工研修へ協定参加者自ら積極的に参加する等集落及び地域での地域興し活動がさらに活発になり、昔からの「農地は自分で守り、次世代へ継承していく。」という意識付けになっている。

今後とも農地を守るとともに、子供達に作物に感謝し、食する喜びを伝えていく活動を継続していきたいと考えている。

[平成20年度までの主な成果]

畦塗機を購入し、畦塗りを効率的に実施 (目標：1ha H20実績：2.2ha)

小学校との連携による体験農園活動の実施

・大豆の作付けから収穫までを実施する。

(参加生徒数：23名 (H20))

収穫した大豆は、母体である地区コミュニティで「とうふ」に加工されている。

・より良い製品として販売するため、参加者による農業大学校での加工研修の実施